

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和5年度）

1 施設の概要

施設名称	西滝沢水辺プラザ
所在地	由利本荘市川西字高野 1 5 2 - 4
設置年月日	平成 23 年 3 月
施設の設置目的・概要	市民が自然に親しめる健全なレクリエーションの場を確保し、健康及び福祉の増進を図るため。
建物・設備の概要	※別紙 1 のとおり

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	NPO 法人西滝沢子ども水辺協議会	所管課	由利市民サービス課
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	施設管理		
指定管理料	8,074,000 円（令和 5 年度実績）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	不適切利用を行った件数	ゼロ	0	A
サービスの向上	施設管理に関するクレームの件数	ゼロ	0	A
管理経費の向上	定められた指定管理委託料内での業務遂行	予算額	予算内	A
適正な管理運営	地域に根差した施設として周辺地域住民によるボランティア回数	年 4 回以上	5 回	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

（参考様式5）指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和 5 年度）

1 施設の概要

施設名称	ふれあい館「鮎川」
所在地	秋田県由利本荘市東鮎川字下山崎8
設置年月日	平成10年3月
施設の設置目的・概要	高齢者の経験及び技術を活かし、その生きがいを高めるとともに、世代間交流を通してやすらぎの生まれるふれあいの場を提供するために設置する。
建物・設備の概要	鉄筋構造1階建て 建築面積 1,121.97 m ² 建築物延面積 999.68 m ²

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	由利本荘市社会福祉協議会	所管課	由利市民サービス課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	施設管理		
指定管理料	1,990,185 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	不適切利用を行った件数	ゼロ	0	A
サービスの向上	施設管理に関するクレームの件数	ゼロ	0	A
管理経費の向上	定められた指定管理委託料内での業務遂行	1,990,185 円	1,990,185 円	A
適正な管理運営	定期的な清掃とごみの回収	週1回以上	週1回以上	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の 維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の 適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報 適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A A

(4) 特記事項

認知症カフェを実施した

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和5年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市ゆり高原ふれあい農場
所在地	由利本荘市黒沢字東由利原4番1
設置年月日	ふれあい農場施設一覧のとおり
施設の設置目的・概要	地域ブランド「秋田由利牛」の基幹農場。預託放牧場や乾牧草等粗飼料生産基地。良質な完熟堆肥の供給基地。
建物・設備の概要	最も古い建物で昭和39年建設。建物・設備の老朽化が著しい。

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株) ゆりファーム	所管課	由利産業建設課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	・施設の運営に関すること ・施設等の維持管理に関すること ・草地管理に関すること ・預託牛に関すること ・肥育牛の飼育に関すること ・その他市長が必要と認める業務		
指定管理料	9, 376, 000円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	市民が畜産への理解を深めて、親しみやすい施設づくり及び放牧預託等の利用と乾牧草の供給にあたり、畜産農家が平等に利用できるように努める。	—	3,921 千円 B	B
サービスの向上	公共牧場としての機能である放牧預託や乾牧草提供は、従来どおり実施し、副産物の堆肥の販売についても安定的に供給できるように努める。	—	745 千円 B	B
管理経費の向上	適正な収支計画、サービスの低下を招かない経費削減への取組	—	A	A
適正な管理運営	公共牧場としてのサービスの質を確保する一方、管理体制を常時雇用者4名の体制とし、施設の安全管理運営に努める。 毎年おおむね6haの草地更新を行い、採草地の維持管理に努める。	—	4名 14ha A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	B	B
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	B	B
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	B	B
	利用者の立場に立った対応をしているか	B	B

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	B	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和5年度）

1 施設の概要

施設名称	ゆりの里交流センター ゆりえもん
所在地	秋田県由利本荘市前郷字御伊勢下 39-2
設置年月日	2002 年 4 月
施設の設置目的・概要	入浴 休憩 食事 宴会等
建物・設備の概要	大浴場 ジェットバス サウナ 大広間 個室 食堂

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	有限会社 ゆりの里振興社	所管課	観光振興課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	入浴施設・休憩施設・食堂の管理運営		
指定管理料	25,481,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	本施設は、市民に温浴を活用した休養の場を提供し、健康の増進並びに福祉の向上に資することを目的に設置されたものである。 また、市民の交流の拠点施設として高原を主体とする観光情報の提供や地域の特産品のPR・販売促進など、市と連携して積極的に地域活動を行う公営施設としての役割も大きい。 公営施設として、このような設置の目的を達成するため、利用者に対する公正公平な運営の重要性を十分理解し、施設利用の際の平等性の確保には細心の注意を払いながら、差別のない平等なサービスを提供していく。		A	A
サービスの向上	(イベント等のサービス) ・ 11回分の回数券を10回分の料金（4,000円）で販売し、利用者に1回分をサービスしたうえで利用の促進に努める。 ・ 15ポイントまでのポイントカードを発行し15ポイントたまった場合は次回		A	A

	カードの提示により1回の無料サービスを行う。新カードに1ポイントサービス。 また、ポイントがたまった方の中から毎月一回の抽選により5名の方に、入湯回数券2枚(800円分)をプレゼントするなど施設利用を促進して頂いているリピーターに対して還元を行う。 ・毎月26日を「フロの日」とし、ポイント2倍デーをもうける。 ・来館を楽しんで頂くため、商工会などの協力を得ながら、鏡開き・餅つきなどの新春イベント、ビアガーデンを開催するほか、歌手を招いての芸能ショーや地元芸能団体による舞踊ショーを開催するなどして娯楽をも提供する。 ・毎週火曜日(休館日除く)をポイント2倍のサービスデーとする。 ・平成19年の1月から当日誕生日の方は入湯料無料サービスを実施中。更に1ポイントサービスする。 ・入湯料については、市の条例で定められた上限700円よりも安価な400円へ設定する事などにより、初めて来館された方にも安心してご利用いただける料金設定としております。その上で、令和5年4月から65歳以上対象で8時半から16時までに入湯される方は50円引きの350円としております。 ・新たにLINE会員向けにスタンプ2倍・3倍のサービスデーを設置し、今まで以上にお得なスタンプサービスデーを増やしたりした。			
--	--	--	--	--

	・サウナー向けのサービスの向上に向けた取り組み。 サウナー向けのドリンクと料理の開発を行い、今までサウナに入ってそのまま帰っていたお客様へプラス一品購入の提案とLINEを使っでの複合サービスを行う。 例) 3月7日はサウナの日 通常330円のドリンクが100円引き！！ さらにスタンプも3倍などのサービスを実施 そして公共交通機関の少ない由利地域において、車を持たない年配のお客様や宴会利用のお客様への無料送迎サービスを行い、利用者だけではなくご家族の方々にも安心して「ゆりえもん」を利用してもらえるよう利便性の向上に努めております。			
管理経費の向上	平成14年度の開業以来収支計画を遵守すべく日々の実績管理を徹底し、無駄を省いた効率良い運営を目指してきたが、運営費全体における灯油代・水道料をはじめとする需用費の割合が大きいことから、サービスの向上を図りながらも館内やお風呂の適切な温度管理と節水に努め、経費のかかり増しを徹底して抑制するよう日々注意を払いながら施設管理を行う。 出資者26名が「ゆりえもん」の応援団として、それぞれが経営する会社及び所属団体の各種会合で施設を数多く活用するなどし、利用の促進が図られており、地域のつながりを活用した効果的な運営を図る。 (収支計画については、別紙を添付いたします。) ◎経費節減に向けた取り組みについて 人件費を抑制するため、正社員は必要		A	A

	最小限とし、食堂並びに館内や浴槽の清掃作業等については、パート従業員により対応するものとする。			
適正な管理運営	地元の商工業者の出資により会社を設立するということで、開業当時から経営については商工会の経営指導員によりノウハウを習得し、会計事務所の指導のもとに適正な会計業務を行っております。 売上、仕入・棚卸、費用、労務、資金等の管理を行い報告書を作成し、業績検討並びに目標設定等の会議を開催し、常に分析を行ったうえで営業の改善を図っております。 お風呂はもちろん、宴会等の利用がメインとなる本施設に於いて、灯油の高騰や電気、ガス代の高騰は重大な問題となっておりますが、入浴料金を値上げすることなく施設を運営していくために、今までより以上に費用管理が重要となり、各部門ごとに経費の節減を徹底していくように努めます。 ◎法令等を遵守した経営が行われているか 自治体、由利本荘市の条例、規則を始め労働法や温泉法、食品衛生法など各法令に沿った経営を確実に行う事により安心安全な経営を心掛ける。		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A

	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A
--	--------------------	---	---

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和5年度)

1 施設の概要

施設名称	スターハウス コスモワールド
所在地	由利本荘市西沢字南由利原 3 5 8 番地
設置年月日	平成 7 年
施設の設置目的・概要	
建物・設備の概要	天体ドーム、プラネタリウム

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社 サンアメニティ	所管課	観光振興課
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	天体望遠鏡、プラネタリウム運営管理		
指定管理料	29,709,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	B
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	B
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	B	B
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	B	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	B	B
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

経年劣化による機材の購入や修繕。専門的な知識を持っている人材の確保。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和5年度)

1 施設の概要

施設名称	南由利原青少年旅行村
所在地	由利本荘市西沢字南由利原 3 7 3 番地
設置年月日	昭和 4 8 年
施設の設置目的・概要	
建物・設備の概要	ケビン、バンガロー、オートキャンプ、テントサイト

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社 サンアメニティ	所管課	観光振興課
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	宿泊施設運営管理、観光施設等総合案内		
指定管理料	29,709,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	A	A
平等使用	A	A
施設効用の発揮	B	B
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	B	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	B	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

利用者の安全を確保するため水道施設修繕、不要施設の解体、遊具の撤去、更新など環境整備が必要。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和5年度）

1 施設の概要

施設名称	サイクリングターミナルやまゆり
所在地	由利本荘市西沢字南由利原360番地
設置年月日	平成元年
施設の設置目的・概要	
建物・設備の概要	レストラン、レンタサイクル、サイクリングロード

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社 サンアメニティ	所管課	観光振興課
指定期間	令和2年4月1日から令和6年3月31日		
指定管理業務の内容	飲食の提供、レンタサイクル運営管理		
指定管理料	29,709,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	B	B
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	B	B
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

経年劣化による市道（サイクリングロード）の安全確保、環境整備が必要。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和5年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市鳥海山 木のおもちゃ館（旧鮎川小学校）
所在地	由利本荘市町村字鳴瀬台65番地1
設置年月日	平成30年7月1日
施設の設置目的・概要	木を通して子ども達の豊かな心を育み、多世代交流の場を提供し地域文化の振興に資する
建物・設備の概要	木育施設、店舗施設、地域交流・民俗展示施設、屋外施設

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	特定非営利活動法人 由利本荘木育推進協会	所管課	文化・スポーツ課
指定期間	令和4年4月1日～令和8年3月31日（4年間）		
指定管理業務の内容	施設運営、施設維持管理、利用料金に関すること 等		
指定管理料	16,997,000円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の平等使用の確保	市民・利用者の平等な利用が確保されているか (利用者アンケート等の実施と苦情対応処理)	苦情件数を 年10件未満に	A	A
サービスの向上	施設利用者のニーズに沿った対応をしているか (定期的なおもちゃの更新等)	年1回	S	A
管理経費の向上	維持管理費の縮減に努めているか (光熱水費等の縮減努力)	5%削減	A	A
適正な管理運営	おもちゃ館内及び周辺敷地の管理が適切に実施されているか	機械設備の定期点検 (3ヶ月に1回) 草刈(年3回)	S	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	S	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	S	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	B
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

人件費や光熱費他の大幅な値上げが続く中での経費節減は経営上現実的ではないが、昨年度と比べ収入と支出の差額が 119.03% プラスとなったことから、経営は安定に向かっていると思われる。また、年度中、産休育休の申請者が同時に 3 名いたが、適切な人員配置によりスムーズに運営することができ、また少子化対策にも貢献できたと思われる。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てが A 以上かつ、半分以上が S である
A A	評価項目全てが A 以上である
A	評価項目に A 以上が半数以上含まれている
B	評価項目に B 以上が半数以上含まれている
C	評価項目に C が含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和5年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市 B&G 海洋センター (由利)
所在地	由利本荘市前郷字御伊勢下 39 番地 2
設置年月日	1993 年 7 月
施設の設置目的・概要	地域住民の健康づくりに寄与する
建物・設備の概要	25m プール、幼児用プール、体育館、会議室、トレーニング室

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社サンアメニティ	所管課	文化・スポーツ課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	体育館、プールの運営管理		
指定管理料	26,400,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等) がとられているか	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

施設の老朽化に対策、光熱水費高騰への対策、海洋センター独自の資格所有者の育成の必要性。 人件費高騰による委託費（特にプール上屋設置撤去）増加への対策。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている